

注目されるアジアでのビジネスシーンでも きめ細やかなサービスを提供します



■ インドネシア・インドの銀行と相次いで提携

平成24年9月のバンクネガラインドネシアとの業務提携に引き続き、平成25年2月7日にインドステイト銀行(本店:インド・ムンバイ市)と提携関係を結びました。人口世界2位のインドは、近年の高い経済成長と中間層の拡大を背景に、生産拠点としてのみならず、販売拠点としても注目を集めています。

【業務提携・協力銀行】

銀行名	提携・協力時期
インドステイト銀行(インド)	平成25年 2月
バンクネガラインドネシア(インドネシア)	平成24年 9月
バンコック銀行(タイ)	平成20年11月
カシコン銀行(タイ)	平成20年11月
中国銀行(中国)	平成15年 6月
中国工商銀行(中国)	平成14年11月

■ ミャンマー官僚、来訪

平成25年2月12日、ミャンマーの官僚や中央銀行の幹部らが、国際部及び本店営業部に来訪されました。これは、民主化が進む同国には存在していない地域金融機関の業務を学ぶ研修の一環で行われたもので、当行の中小企業に対する経営支援や産学官との連携、環境金融に対する取り組みなどを視察されました。

今回の来訪を機に、「アジア最後のフロンティア」として注目を集めるミャンマーの行政機関と連携を図り、お取引先への情報提供に努めてまいります。



ミャンマー官僚の本店営業部視察の様子

ビジネスシーンでも 提供します

「インドの魅力」

～バンコク駐在員事務所長レポート～



Republic of India

伸びゆくインド

約12億1千万人、世界第2位の人口を抱えるインド。しかも約6割が30歳以下と若く、2020年には中国を抜き世界1位となることが確実視されている伸びゆく大国です。



インドと日本の関係

日本では知られていませんが、日本のアニメが数多く放映され、日本製品に対する信頼感が高いなど、とても親日的な国です。東日本大震災では、インド初の海外災害救助隊が編成され、被災地に駆けつけてくれました。約1,000社の日系企業が、この世界一の労働力と消費市場の国に進出をしています。

インドのお国柄

インドには独特の宗教観や哲学があり、外国人がインド社会に深く入り込むには時間がかかります。困難に直面しても、ガンジス川の流れるように、ゆったりと、しかし、確実に前進をする強い気持ちが大切かもしれません。

